

TAKEUCHI Junko

たけうち じゅんこ

助教授 武内 旬子 1956 生

I 学位 文学士号
文学修士号
文学博士号

II 専門分野 フランス語文学

III 略歴

1980年3月 京都大学文学部仏語仏文学専攻卒業（文学士）
1981年4月 京都大学大学院文学研究科修士課程仏語仏文学専攻入学
1983年3月 同 上 修士課程仏語仏文学専攻修了（文学修士）
1983年4月 同 上 博士課程仏語仏文学専攻進学
1986年9月 パリ第8大学および高等師範学校留学（～1991年3月）
1990年3月 京都大学大学院文学研究科博士課程仏語仏文学専攻中退
1991年3月 神戸市外国語大学講師就任
1993年4月 同 上 助教授昇任 現在に至る
1993年10月 パリ第8大学文学博士号取得

IV 研究活動

フランス語を表現言語とする文学の研究。最近では主に、「性差」「母語- 外国語」「他者」といった主題を中心に、マグレブ出身の女性作家のテキストを対象としている。

1. 著書

なし

2. 論文

“Marguerite Duras, l'écriture des relations mère-fille”（博士号取得論文） 単著 パリ第8大学 1993
「拒否を書く 『クレヴの奥方』における娘の言葉」（『神戸外大論叢』第45巻第7号所収） 単著 外大研究会 1994
「寄り添う言葉 アシア・ジェパール『影スルタン妃』をめぐって」（『神戸外大論叢』第47巻第1-4合併号所収）
単著 外大研究会 1996
「異なるものの名 ファリーダ・ベルグル『ジョルジェット！』とモニック・ヴィテイグ『オポポナクス』」（『神戸外大論叢』第48巻4号所収） 単著 外大研究会 1997
「バスクを開く語り」（『神戸外大論叢』第50巻第2号所収） 単著 外大研究会 1999
「アルジェリア女性による90年代フランス語表現文学」（『神戸外大論叢』第51巻第5号所収） 単著 外大研究会 2000
「アシア・ジェパールによる現代アルジェリアの物語- 短編「バラバラにされた女」を読む」（『女性空間』第18号）
単著 日仏女性研究学会 2001
「マリカ・モカデム 砂漠からエクリチュールへ（前）」（『神戸外大論叢』第53巻第5号所収） 単著 外大研究会 2002
「マリカ・モカデム 砂漠からエクリチュールへ（後）」（『神戸外大論叢』第53巻第7号所収） 単著 外大研究会 2002
「小説を書く権利 アシア・ジェパール初期小説を読む」（『神戸外大論叢』第54巻第1号所収） 単著 外大研究会 2003
「恋愛の国のセクハラ」（『外国学研究』第59号所収） 単著 外大外国学研究所 2004
「アルジェの女たちはどこにいるのか アシア・ジェパール『アルジェの女たち』を読む」（『神戸外大論叢』第55巻第5号所収） 単著 外大研究会 2004

3. その他の研究活動

(1) 翻訳

「引き裂かれたお菓子」（エレヌ・シクスー著）（『この男、この国』所収） 単訳 ユニテ 1989
「アフリカの女性、開発、南北関係」（アンドレ・ミッシェル著）（『約束された発展？』所収） 単訳 インパクト出版会 1995
「愛、ファンタジア」（アシア・ジェパール著）（『aala』所収） 単訳（部分訳） 1995

(2) その他

「フランス文学におけるバスク」（『バスク地方のスポーツ文化に関する総合的調査研究』所収 文部科学省科研費・国際学術研究 研究成果報告書） 単著 1999
「フランス語圏女性作家- ブラックアフリカとマグレブの場合」（マグレブ担当）（『女性空間』第20号所収） 単著 2003

V 教育活動

「フランス語」(選択科目/兼修語学/学部英米・中国・国際関係学科 I 階程) フランス語基礎文法。同時にフランスの文化・社会を知る機会ともなることを目指している。

「フランス語」(選択科目/兼修語学/学部英米・中国・国際関係学科 II 階程) フランス語講読。正確な読みを目指すだけでなく、学生達がフランス語やフランス社会自体の持つ多様性に気づき、興味を持てるよう、教材は毎年担当者が「生」のテキストを選択して配布している。

「フランス語」(選択科目/兼修語学/第2部英米学科 I 階程) フランス語の基礎的な口頭コミュニケーション能力の習得。

「フランス語」(選択科目/兼修語学/第2部英米学科 II 階程) さらに能動的に使えるフランス語を目指す。学部同様、フランス社会の多様性を垣間見る機会ともなるようにしている。

「ヨーロッパ文化論第4」 多言語・多文化・多民族にして「単一不可分」の共和国フランスの文化と社会を、様々な視点から紹介し、異質なものの「共生」の困難と豊かさを伝え、近未来の日本社会を考える一助となることをめざしている。

「研究指導」 フランス文化の一分野をテーマに学び、卒論を書く。

VI 学会活動

日本フランス語フランス文学会、日仏女性研究学会

VII その他の活動

なし